

# 本来農業への道

～持続可能な農業と地域を実現するために、いま必要な行動とは～

農業をめぐる問題は多岐にわたり、その早急な解決が必要とされています。増加する世界人口と食料供給、生態環境への影響、地域社会の活性化、農業生産の経済性、さらに食品としての安全性の確保などがその一例です。生命と環境を守るための持続的農業を確立することの必要性は誰もが認めるところですが、残念ながらその普及は遅々として進んでいません。

本シンポジウムでは、私たちが目指す本来の持続的農業、つまり「本来農業」の姿を描き出すとともに、その実現に向けての具体的な道筋を、参加者の皆さまと考えていきます。

## 1

### 第1部 13:00～15:10 「本来農業とは」

- ▼開催に寄せて…西郷 正道  
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課長
- ▼趣旨説明………祖田 修  
持続可能な農業に関する調査委員会※1裏面参照 委員長、福井県立大学学長
- ▼基調提言………「本来農業」の考え方と、行動のための10の提言  
ピーター D. ピーダーセン  
持続可能な農業に関する調査委員会事務局長、(株)イースクエア社長
- ▼調査委員によるパネル・ディスカッション

#### テーマ1 「実行力ある農業リーダーを育てるために」

司会	木内 孝……NPO法人フューチャー500理事長
パネリスト	古在 豊樹……千葉大学教授
	澤登 早苗……恵泉女学園大学大学院准教授
	本野 一郎……NPO法人兵庫県有機農業研究会理事(元JA兵庫六甲)
	吉田 修……伊賀の里モクモク手づくりファーム専務理事

#### テーマ2 「ビジネスとしての本来農業」

司会	大原 興太郎…元三重大学教授
パネリスト	朝田 くに子…NPOローカル・ジャンクション21代表
	宇根 豊……NPO法人農と自然の研究所代表理事
	木之内 均……(有)木之内農園代表取締役
	陽 捷行……北里大学副学長(元農業環境技術研究所所長)

※肩書はシンポジウム実施時(予定)

## 2

### 第2部 15:10～16:45 「本来農業の実現に必要な行動」

- ▼本来農業の実現に必要な行動
  - ▼シンポジウム参加者全員による、具体的な行動案の書き出し
  - ▼行動案を基にした会場全体での公開討論
- ▼結びの言葉……「夢ある農業の実現に向けて」石黒 功  
持続可能な農業に関する調査委員会顧問、イシグログループ代表



## 申込書

下記の必要事項をご記入の上、開催事務局の(株)イースクエア「本来農業への道」シンポジウム係までE-mailもしくはFaxにてご返送下さい。E-mailの場合、必要項目が記入されていれば様式は問いません。

宛先

(株)イースクエア「本来農業への道」シンポジウム係

E-mail: sas@e-squareinc.com / FAX: 03-5777-6735

お名前			
会社名 団体名			
部署等			
E-mail			
TEL		FAX	
参加費2,000円をシンポジウムの後にお振り込み頂くことを ご了承いただけますか? (振込用紙は当日お渡します)		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営管理および後に開催する関連イベントのお知らせのためにのみ使用します。  
個人情報のご記入は任意ですが、必要な情報をご記入いただけない場合は、当日の受付やお知らせの送付ができないことがありますのでご注意ください。

### 会場のご案内

#### 国連大学 3F ウ・タント国際会議場

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70  
JR渋谷駅から徒歩8分 もしくは 地下鉄表参道駅  
(銀座線、半蔵門線、千代田線) B2出口から徒歩5分



日時：2008年4月16日(水) 13:00~16:45 (12:30開場)

場所：国連大学 3F ウ・タント国際会議場

主催：持続可能な農業に関する調査委員会※1

後援：農林水産省、農林漁業金融公庫、愛知県田原市、  
千葉大学サステイナビリティ学アソシエーション、  
NPO法人日本プロ農業総合支援機構、  
NPO法人農と自然の研究所、NPO法人フューチャー500

定員：300名(先着順)

参加費：2,000円を後日振り込み  
(資料代、カーボンオフセット費用※2 などとして)

お問い合わせ：開催事務局

(株)イースクエア「本来農業への道」シンポジウム係  
〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-12 第二山内ビル3F  
TEL: 03-5777-6730 FAX: 03-5777-6735  
E-mail: sas@e-squareinc.com

#### ※1 持続可能な農業に関する調査委員会

大学教授、NPO、農業団体、企業、農家など26名の顧問・委員により組織された任意団体。2006年11月から翌5月にかけて開催した委員会での議論を基に、報告および提言書「本来農業への道」を取りまとめ、2007年12月に公表しました。詳しくはホームページ(www.sas2007.jp)を参照。

#### ※2 カーボンオフセット

カーボンオフセットとは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を、クリーンエネルギーなどへの投資を通じて相殺する(打ち消す)ことです。本シンポジウムの開催により排出される二酸化炭素(概算)を、日本カーボンオフセット(www.co-j.jp)を通じてオフセットします。